

# グリーン物流セミナーを開催しました

～海運へのモーダルシフト推進を目指して～

物流部門における地球温暖化対策(CO2排出削減)には、荷主企業と物流事業者それぞれの単独による取り組みだけでなく、互いに知恵を出し合い連携・協働すること(パートナーシップ)により、「グリーン物流」を推進していくことが必要です。中でも環境負荷の小さい海運へのモーダルシフトは、大気汚染や地球温暖化の原因となる自動車排出ガスを減らす環境対策の一つとして注目されているところです。

関西グリーン物流パートナーシップ会議では、フェリー輸送の利便性と活用事例紹介、モーダルシフトの補助制度の紹介及びフェリー船内の見学等を通じて、企業の物流担当者の皆様が、グリーン物流について理解を深め、自社の物流を見直していただく契機となることを目的として、「グリーン物流セミナー」を開催しています。

## ●平成24年度グリーン物流セミナー（第2回）

開催日：平成25年2月7日(木)

場 所：大阪南港フェリーターミナル オレンジフェリー「おれんじ8」船内

主 催：関西グリーン物流パートナーシップ会議(事務局：近畿経済産業局、近畿運輸局、神戸運輸監理部)

概 要：第一部では車両甲板をはじめフェリー船内の見学、第二部ではフェリー輸送の利便性と活用事例やモーダルシフトの補助制度について運輸局担当官より説明。第三部では各船社が荷主・物流事業者に対し個別による相談会を実施。(参加人数23団体、32名)

### プログラム

#### ～ 第一部 ～

見 学「フェリー船内」 協力：四国開発フェリー(株)

#### ～ 第二部 ～

「フェリー輸送の利便性と活用事例について」 講師：近畿運輸局海事振興部旅客課長 前川一郎

「モーダルシフトの補助制度について」 講師：近畿運輸局交通環境部物流課長 中森正己

近畿運輸局交通環境部物流課専門官 今蔵雅幸

#### ～ 第三部 ～

モーダルシフト(海運)相談会



# グリーン物流セミナーを開催しました

～鉄道へのモーダルシフト普及促進に向けて～

物流部門における地球温暖化対策(CO2排出削減)には、荷主企業と物流事業者それぞれの単独による取り組みだけでなく、互いに知恵を出し合い連携・協働すること(パートナーシップ)により、「グリーン物流」を推進していくことが必要です。中でも環境負荷の小さい鉄道へのモーダルシフトは、大気汚染や地球温暖化の原因となる自動車排出ガスを減らす環境対策の一つとして注目されているところです。

関西グリーン物流パートナーシップ会議では、鉄道輸送の仕組み、モーダルシフトの事例紹介や鉄道コンテナ荷役作業、鉄道コンテナの展示見学等を通じて、企業の物流担当者が、グリーン物流について理解を深め、自社の物流を見直していただく契機となることを目的として、「グリーン物流セミナー」を開催しています。

## ●平成24年度グリーン物流セミナー（第1回）

開催日：平成24年11月26日(月)

場 所：大阪第1合庁第1別館大会議室、JR安治川口貨物駅

主 催：関西グリーン物流パートナーシップ会議(事務局：近畿経済産業局、近畿運輸局、神戸運輸監理部)、大阪地方通運業連盟、公益社団法人鉄道貨物協会

概 要：第一部では、貨物鉄道会社、通運事業者、荷主企業からの鉄道貨物輸送の仕組みとモーダルシフト等の取り組み事例紹介の講演、第二部では鉄道貨物コンテナ荷役作業と鉄道貨物コンテナの見学を実施。

(参加人数132人、参加団体数78団体)

### プログラム

#### ～ 第一部 ～

- ・「鉄道コンテナ輸送の仕組みと今後の取組みについて」  
日本貨物鉄道株式会社 関西支社 営業部 グループリーダー 吉田 真也 氏
- ・「モーダルシフトへのソリューション～課題解決に向けて～」  
日本通運株式会社 大阪コンテナ支店 次長 板東 友樹 氏
- ・「メーカーにおけるグリーン物流の取組みについて」  
ダイキン工業株式会社 物流本部 業務部長 武田 重治 氏

#### ～ 第二部 ～

- ・見学「安治川口駅における荷役作業と鉄道コンテナの展示」



みんなで地球にやさしい物流を

グリーン物流パートナーシップ